

ピーター・バラカン presents 80年代の洋楽シーン ミュージック・ビデオの 先駆的な監督たち

▶ 案内役：ピーター・バラカン

1951年ロンドン生まれ。ロンドン大学日本語学科を卒業後、1974年に音楽出版社の著作権業務に就くため来日。現在フリーのブロードキャスターとして活動、「バラカン・ビート」(インターFM)、「ウィークエンド・サンシャイン」(NHK-FM)、「ライフスタイル・ミュージアム」(東京FM)、「ジャパノロジー・プラス」(NHK BS1)などを担当。著書に『ロックの英詞を読む〜世界を変える歌』(集英社インターナショナル)、『ラジオのこちら側』(岩波新書)、『わが青春のサウンドトラック』(光文社文庫)、『ピーター・バラカン音楽日記』(集英社インターナショナル)、『ぼくが愛するロック 名盤240』(講談社+α文庫)、『ロックの英詞を読む』(集英社インターナショナル)、『猿はマンキ、お金はお金』(NHK出版)、『新版魂(ソウル)のゆくえ』(アルテスパブリッシング)などがある。2014年から小規模の都市型音楽フェスティバルLive Magic(<https://www.livemagic.jp/>)のキュレーターを務める。

▶ ゲスト：明貫紘子 + 木村悟之(映像ワークショップ) ※ Eizo Workshop

「ポップアップ・スクリーン」をキーワードに、映像にまつわる多様なプロジェクト(上映、ワークショップ、記録、アーカイブ、リサーチなど)をポツポツ、ポツポツとあちこちで展開する。明貫紘子(キュレーター、メディアアート・アーカイブ研究)と木村悟之(映像制作業、ビデオアーティスト)を共同運営者として、2018年に石川県加賀市を拠点に設立された。

DATE / 2019.12.13.fri 18:30 open 19:00 start PLACE / 金沢21世紀美術館シアター21

TICKET 3,000 yen (inc.tax) / 全席自由
当日500 yen増 / 整理番号なし

▶ PLAYGUIDE / チケットぴあ(Pコード:643-881)、イープラス
金沢21世紀美術館ミュージアムショップ
(火~日 10:00-18:00 / 金・土 10:00-20:30 ※窓口販売のみ)
オレンジヴォイスWEBサイト(oravo.net)

ピーター・バラカンが金沢21世紀美術館に初登場!
バラカンさんが1980年代に選曲、
そしてVJを担当していた「ポップバースMTV」の
エピソードを交えながら、当時の洋楽シーンを作り上げた
斬新なミュージック・ビデオの映像監督達を取り上げる。

本イベントは、同館で開催予定の映像上映プログラム
「テレビ王国の憂愁80s—MTV、ジャンボトロン、
INFERMENTAL」(2020年2月)との連動企画として開催。

▶▶ 連携イベント

2020年2月7日(金)~2月11日(火)
金沢21世紀美術館シアター21



▶主催・企画
株式会社オレンジ・ヴォイス・ファクトリー
映像ワークショップ
▶共催
金沢21世紀美術館[(公財)金沢芸術創造財団]
▶協賛
株式会社SLACKTIDE
▶後援
北國新聞社、北陸放送、石川テレビ放送、テレビ金沢、
北陸朝日放送、エフエム石川
▶制作運営・お問い合わせ
オレンジ・ヴォイス・ファクトリー
TEL. 076-411-6121(平日10:00~18:00)
MAIL. info@oravo.net



金沢21世紀美術館芸術交流共催事業
「アンド21」2019年度採択事業